

第444回和漢研セミナー

講演者 昆 俊亮 准教授

東京理科大学生命医科学研究所

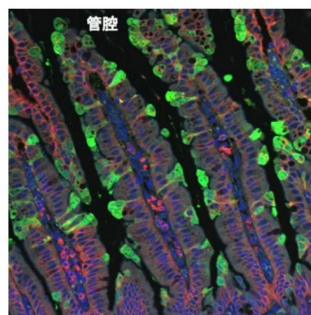


細胞競合と発がん

上皮細胞を起源とするがんの発生から伸展までを概説し、上皮細胞層にがん変異を有する細胞が少数産生されたときに生じる細胞競合現象について理解を深める。

ヒトでは、1日に数千個ものがん変異化した細胞が上皮細胞層に出現すると考えられているが、生体内にはこれら変異細胞に対する防御機構が備わっており、その一つが細胞競合である。細胞競合とは、がん変異細胞とこれに隣接する正常細胞とが互いに生存を争った結果、がん変異細胞が上皮層より排除される現象であり、種を超えて保存された抗腫瘍機能であることが分かってきた。

本講義では、細胞競合の役割とその破綻が発がんをどのように誘因するか議論する。また、我々が最近取り組んでいる「細胞競合マーカーの確立」に関する最近の研究成果についても紹介する。



マウス腸管での細胞競合
正常上皮細胞に隣接するがん変異細胞(緑色)は管腔へと排除される。
青:核 緑:がん変異細胞 赤:アクチンフィラメント

日 時: 2025年5月22日(木)15時00分 ~ 16時30分

場 所: 薬学部Ⅱ棟7階セミナー室8(杉谷キャンパス)

* 本セミナーは大学院講義「分子細胞生物学序論」を兼ねますので履修者は必ず受講してください。

主催 : 和漢医薬学総合研究所

連絡先: 生体防御学領域 早川芳弘(076-434-7620)